

こんな時は……

# 認知症の症状かも?

同じことを何度も話したり、同じ物を何度も買ってきたり…

慣れた道具の使い方がわからなくなったり、今までできてたことができなくなったり…

身だしなみをうまく整えられなくなったり、整理整頓をあまりしなくなったり…

日時が把握できなくなったり、住み慣れた街で家に帰れなくなったり…

## 「あれ?ちょっと変だな」 は大事な認知症のサインです。

思いあたることがあれば…  
早めに相談  
しましょう!

## 認知症とは

なんなんだ

いろいろな原因で脳の神経細胞の働きが低下する事により、記憶・判断力などの障害がおこり、毎日の生活が困難となった状態を言います。

- ◆認知症は単なる「もの忘れ」ではなく「病気」です。
- ◆早めに気づいて適切な治療やケアを行えば病状の進行を遅らせることが可能な場合があります。

認知症は高齢者だけの病気ではありません

## 「若年性認知症」

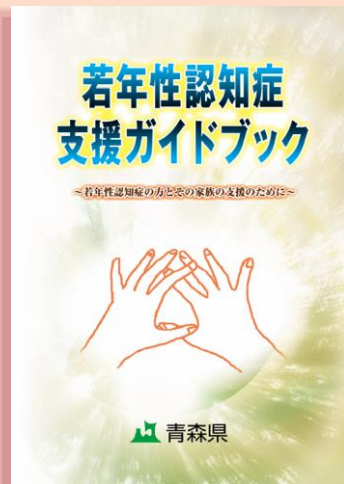
認知症は、加齢とともに発症するリスクが高くなる疾患です。しかし年齢が若くても発症することがあり、65歳未満で発症した場合は「若年性認知症」といいます。

働き盛りの世代にも起こる認知症は、本人だけでなく家族の生活に与える影響が高齢者の発症に比べ大きく、社会的にも重大な問題となっています。

## 若年性認知症で心配されること

- 仕事ができなくなる経済的な問題
- 介護に伴う配偶者や家族の就業問題(就業の継続が困難)
- 介護疲れによる配偶者や家族の疲弊(または心身の病気)
- 若年性認知症に対する周囲の理解不足

若年性認知症支援ガイドブックを作成しました。



県HPで「若年性認知症ガイドブック」と検索するとダウンロードできます。

若年性認知症コールセンター  
若年性認知症に関する様々な相談について対応します。  
0800-100-2707  
(通話相談共に無料)

認知症

## サポーターとは?

認知症サポーターは「なにか」特別なことをする人ではありません。認知症の人やその家族の「応援者」です。

認知症について正しく理解し、職場やご近所で、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守り、必要な時に手助けをしてください。

認知症サポーターには「認知症の人を応援します」という意思を示す「目印」である「認知症サポーターカード」や「オレンジリング」をお渡ししています。



認知症

## サポーターになるには?

各市町村で実施している「認知症サポーター養成講座」を受講してください。企業や団体での受講も可能です。

詳しくはお住いの市町村の認知症担当窓口にお問い合わせください。

認知症サポーターキャラバンHP  
<http://www.caravanmate.com/>

厚生労働省キャラバンHP  
<http://www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/dementia/c03.html>



認知症サポーター「オレンジリング」

認知症サポーターを養成中